

# MAEBASHI 2016▶2017 WEEKLY REPORT

人類に奉仕するロータリー  
ROTARY SERVING HUMANITY



2017. 2. 28 (火)  
第 3030 回 例会報告  
例会日…火曜日(12:10)～群馬ロイヤルホテル  
(第1回 昭和28年9月8日創立)

会 長…鴻田 敦 幹 事…長谷 浩克  
クラブ会報委員長…石川 敬 編 集 者…木村 好文

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.gr.jp/>  
電子メールアドレス [office@maebashi-rc.gr.jp](mailto:office@maebashi-rc.gr.jp)  
[maebashi@rid2840.jp](mailto:maebashi@rid2840.jp)

点 鐘 鴻田会長

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

司 会 石塚副幹事

ビジター 鴻田会長

◎(株)コンダカホールディングス

代表取締役社長 腰高 博さん

秘書室長代理 大和 広樹さん

会長の時間 鴻田会長



本日は株式会社コンダカホールディングス腰高社長をお迎えしての例会です。ならば「この話」しかないであろうと思い、今をさかのぼること39年前、1978年(昭和53年)の昔話をさせていただきます。

昭和53年春の甲子園には群馬県勢としてはじめて2校、桐生高校と前橋高校が出場しました。

ご記憶の方も多いと存じますが、キリタカは「木暮・阿久沢」の二枚看板(木暮さんは投手、阿久沢さんは4番打者ですが)を擁し、最終的には優勝した浜松商業に準決勝で惜敗しました。

マエタカは一回戦の比叡山高校戦で史上初の完全試合を達成、二回戦福井商業戦では0-14と大敗しました。

3月30日の完全試合の日、4月2日雨の中の0-14の敗戦。一塁側アルプススタンドにはマエタカ甲子園球児の同級生・腰高さん・田新歯科石原さんそして私の姿がありました。

完全試合投手の松本さんは身長168センチ、私と大差ありません。そんな松本さんがなぜあれほどの投手だったのか?

ある日飲みながらボソッと語ったことがあります。

「鴻田、右手を出してみてください。」私の出した右手と松本さんの右手、身長が大差ないにもかかわらず、大きさ・厚みが全然違います。かつ1関節の半分程度、彼の中指は長いのです。そのため投げる最後の瞬間に中指に球が引っかかり、いわゆるスナップが効いた形になり打者の手元で伸びるというのです。甘い球が来たと打者が打とうとすると手元で伸びて、打っても詰まってしまう「内野ゴロ」になるのだそうです。事実、完全試合の時は27アウトのうち内野ゴロ17、レフトとセンターは守備機会ゼロでした。

約4年前こんなこともありました。桐生高校グラウンドで50過ぎになった当時の甲子園球児「マエタカ」と「キリタカ」が再試合をしました。

そんな大切なイベントだとはツユ知らず、桐生で野球をやるけどメンバーが足りないから参加してくれと言われた私と、その後の飲み会が目的の現上毛新聞報道局長の2人の部外者はホイホイとついて行きました。飲み会がありますので両毛線で行ったのですが、電車の中で松本から「今日キャッチャーの高野(当時のレギュラー中唯一の二年生)が休みになったから鴻田がやってくれ」と言われ、絶句。「盗塁されても投げられない」と言ったら「50過ぎのおっさんが走れるわけないじゃん」先発キャッチャー鴻田が決まりました。甲子園レギュラーメンバーのうち参加は松本を含め5人で、その他は1年後輩の野球部員でした。

着替えて準備運動。キリタカのこの日のために気合を入れてユニフォームを新調。マエタカは昔のものでいいやといういい加減さで、そもそもチグハグ。私と報道局長だけ当日松本からもらった新品のユニフォームを着て借りてきた猫のようでした。

三塁側ブルペンで松本のウォーミングアップ。松本の投球を見ようと周りはマスコミも含め黒山の人ばかり。もちろんキャッチャー鴻田です。球種のサインだけ決めて(もちろんサインは松本が出した)ホームプレートで構えました。数球補給して私をキャッチャーにした意味が分かりました。全部私が構えたと

ころに球がくるのです。球は速く、先程の話のように球が伸びてくるのですが、すべて構えたところに球がくる、これなら私にも取れます。ちなみに当日は硬球ではなくもちろん軟球だったことを付け加えておきます。

試合結果は7対7の引き分け。翌日の上毛新聞に掲載された松本のコメントは「キリタカとは5回対戦して一回も勝てなかったのでぜひ勝ちたかった」「だったら俺なんか誘うなよ」

話しは変わりますが、当クラブのスポンサークラブである桐生ロータリークラブにも当クラブと同じく野球部があります。桐生ロータリークラブのユニフォームはキリタカのユニフォームとほとんど同じで、胸の桐生のローマ字の下に小さくロータリークラブと入っているだけの違いです。

当クラブもマエタカと同じで桐生ロータリークラブに勝ったことがありません。今年は期待の新人が加入したことですし、昨年県大会準優勝の力を見せつけ、桐生ロータリークラブを粉砕してやろうと思っています。

**幹事報告** 長谷幹事

1. 次回 3月7日の例会は、クラブフォーラムです。また、例会前の11時30分より定例理事会を開催いたします。理事・役員の方には改めてファックス連絡いたしますが、出席をお願いします。
2. 3月のロータリーレートは1ドル116円で、2月から変更ありません。

**副幹事報告** 石塚副幹事

桐生西RC



**出席報告**

会員数：117名  
 { 出席者 77名  
 { 欠席者 40名  
 本日出席率：67.54%  
 前々回訂正：73.68%



**ニコニコBOX報告**

- 鴻田 敦・石原 秀一郎…前橋高校同級生腰高博さんのご来訪を歓迎します。卓話楽しみにしています。ぜひ入会もご検討下さい。
- 平出 昌男…コシダカホールディングス腰高社長様のご来訪を心より歓迎いたします。講話を楽しみにしております。
- 齋藤 一雄…腰高社長様のご来訪を歓迎して。お話を楽しみにしております。
- 板垣 忍…腰高さんご入会おめでとうございます。アレ！まだでしたっけ。すみません。首を長くして待っています。
- 藤生 仁…腰高社長様のご来訪を記念して。

■ 紺 正行…結婚記念日に美しいお花をいただきました。ありがとうございます。

■ 栗原 公夫…宮久保先生のお世話で、白内障の手術が無事に終り、2カ月振りに出席する事が出来ました。感謝して、少々。



**外部卓話**



(株)コシダカホールディングス 社長 腰高博様



※クラブ会報は会員の敬称は略させていただきます